

河川基金助成事業

「みどり川と遊ぼう」プロジェクト 報告書

助成番号：2021 - 7212 - 008

北海道中標津町立丸山小学校

校長 横山 裕 充

2021 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7212-008	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト			中標津町立丸山小学校		
校長名	横山 裕 充	担当教諭名		木村尚登・高田大地		
過去の助成実績	なし(あり) [助成番号：2020-7212-009 助成事業名：「みどり川と遊ぼう」プロジェクト]					
キーワード						
対象児童生徒	小学生 (5年63名 6年53名)					
対象河川名	みどり川	活動場所の指定状況		なし		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	みどり川と遊ぼう					
ねらい	自らの対象に関わり、課題を見付け追究しようとする (5年) 自らの問題を解決するために粘り強く追究しようとする (6年)					
評価の観点	追求する力、かかわる力、自分の生き方を考える力					
活動時期	5月～2月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 (理科)	各教科学習 (社会)	各教科学習 (国語)	その他 ()	合計
上記の活動時間数	20時間 21時間	14時間 9時間	10時間 13時間	10時間 11時間	時間	54時間(5年) 54時間(6年)
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	北海道立研究機構さげます・内水面水産試験場道東センター：さげます養殖等に関する講話、みどり川における水生生物の説明 等 北海道教育大学釧路校：水辺活動の指導支援 等 中標津町郷土資料館：水辺の水生生物の説明 等					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	対外発表 ()		
安全対策に関する課題						
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階はもちろんのこと、前日に必ず下見を行い状況の確認を行う。 活動当日は、担任の他に2名増員し監視の目を増やすとともに、グループを作って複数で行動するようにする。 						
活動の成果と今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> 川での体験活動と教科の学習を関連させて行った行動は、学習への意欲をもつきっかけとなるとともに、地域への愛着を深めていた。 問題解決を中心として、水温が低くなる時期まで行ったが、気にせず調査を続けるなど、主体的に取り組む態度や学ぶことの楽しさを味わう姿が見られた。 6年生では、郷土の未来を考えることや各教科の学習を進化させる活動への展開に発展させることができた。 						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
データベースに登録する活動分野	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
	学校部門	教育活動	体験活動 系 生物調査 系	川遊び 生き物と環境	6～2月 9～11月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

アドバンス 活動報告書

1.助成事業名	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト		学校名	中標津町立丸山小学校		助成番号	2021-7212 -008					
2.単元名	みどり川と遊ぼう											
3.目標	自ら対象に関わり課題を見つけ追究しようとする。											
4.実施学年 人数	第5学年 63名											
5.場所	みどり川、丸山公園											
6.単元構想 (総時間数)	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
5学年・単元目標	総合「みどり川と遊ぼう」 標津川の支流であるみどり川を探検し、中標津の自然を体感するとともによさを知る。(理科・社会・国語とも関連) 54時間											
	社会や理科の学習と関連付けながら、学校の近くにある「みどり川」「標津川」「丸山公園の池」に興味をもち、自分自身の課題を見つけ、追究しようとする。			社会や理科の学習と関連付けながら、「みどり川の水はどこから来ているのか。」という共通課題をもち、それを追究する中で、新たな課題を見つけようとする。			自分たちが1年間課題追究して分かったことをまとめ、次の学年に伝えようとする。					
主な学習活動	【課題を設定する】 ⑥ 春の学校周辺を散策し、みどり川・標津川・丸山公園を中心に、そこに生息する動植物を探る。	【調査活動】⑬ 理科で学習した「植物の生長」と関連させ、みどり川の自然環境について調査する。また、「魚の誕生」と関連させて、みどり川に生息するサクラマスについて調査する。社会科で学習した「あたたかい地域のくらし 寒い地域のくらし」と関連させ、気温の変化と植物の成長の変化について調査すると共に、そこに生息する動植物の違いについて調査する。	【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、タブレット上で編集し、活動をまとめ、他のグループと交流する。その際、MetaMoji ClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の交流学习を行う。	【課題を設定する】⑥ 夏のみどり川周辺を散策し、生き物や植物の違いや、川の流れの変化を探る。	【調査活動】⑬ 理科で学習した「台風と天気の変化」と関連させて、標津川の水が増水している様子やみどり川の水の色の変化の違いを調査する。また、「流れる水のはたらき」の学習と関連付けて、丸山公園の三日月湖とみどり川の関係性について調査する。	【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、タブレット上で編集し、活動をまとめ、報告会を行う。MetaMoji ClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。	【課題を設定する】⑤ 今までの調査をもとに分かったことをどのように次の5年生に伝えていくかを考える。	【まとめる・発信する】⑩ 1年間調査してきたことを写真や絵、言葉を使ってタブレット上でまとめる。MetaMoji ClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。				
	○学校周辺の散策から、疑問を見つける目をもつ。 ○自分から進んでみどり川・標津川・丸山公園の様子を探ろうとしている。	○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○既習の内容と身近な疑問を関連付けて考え、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。	○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。	○春の調査結果から生れた新たな疑問をもとに、調査しようとしている。 ○実際に探索しながら春には気づかなかったことに疑問をもっている。	○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○既習の内容と身近な疑問を関連付けて考え、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。	○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。	○相手意識をもった発表とは何かを考え、それをもとにまとめている。	○相手により分かりやすく伝えるように、今までの資料を基に効果的に発表することができている。				
評価項目												

1.助成事業名	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト	学校名	中標津町立丸山小学校	助成番号	2021-7212-008
---------	------------------	-----	------------	------	---------------

7.実際にいった単元構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---

総合「みどり川と遊ぼう」 標津川の支流であるみどり川を探検し、中標津の自然を体感するとともによさを知る。 (理科・社会・国語とも関連) 54時間

「中標津町といえば…」テーマに、学校周辺を探索し、自然環境や町のつくりなどを調査した。その上で、中標津町を流れている標津川や学校近くの丸山公園の三日月湖、みどり川に焦点を当て、自分が追究してみたいことを決め、他教科と関連させながら考察していく活動を行った。

夏休み前の活動から生れた新たな疑問「みどり川の水は、どこから来ているんだろう。」という疑問を追究するために、みどり川・標津川・丸山公園の池についてフィールドワークを行った。

この1年調査してきたみどり川のフィールドワークから、気づいたこと分かった事をまとめる活動を行った。

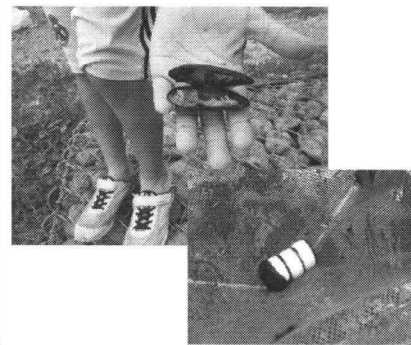
【課題を設定する】④

- 春の学校周辺を散策し、みどり川・標津川・丸山公園を中心に、そこに生息する動植物を探った。その中で、自分が追究したい事を決定した。
- 自分が追究したいことを決めるために、何度もみどり川に足を運び、気づいたこと・発見したことをどんどんMetaMoji ClassRoomに記録していった。



【調査活動】⑮

- 理科の学習や社会の学習と関連させながら、個々が決定した課題解決のために、みどり川や丸山公園へ行き、調査を行った。
- みどり川に生息する生き物の中に、「エゾサンショウウオ」や「カワシンジュガイ」があることを発見し、中標津町の学芸員の方に詳しく話を聞いたりしていた。
- みどり川で砂鉄がとれる場所を発見し、その砂鉄で鉄ができるかどうか北海道教育大釧路校の境教授に話を聞いたりしていた。



【まとめる】⑥

- 調査結果を基に、自分たちが分かった事をMetaMoji ClassRoomにまとめた。
- 夏休み以降の次の調査活動につなげるために、学年で交流した。

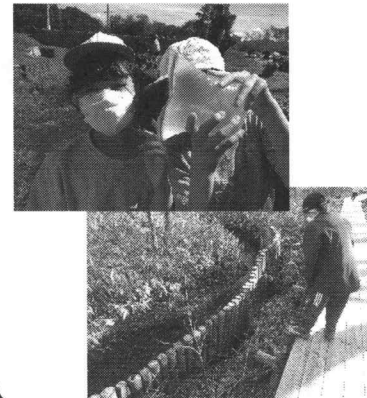
【課題を設定する】④

- 春と比べて、みどり川の様子がどのように変化しているかを調べるために、川へ出かけた。
- 川の変化に気づくとともに、さらに追究したい課題を設定し、調査活動が始まった。



【調査活動】⑬

- 調べていく中で、外来種である「ウチダザリガニ」の子どもがいることを発見し、丸山公園とみどり川の関係性を調査した。
- 理科の学習と関連させ、標津川やみどり川を観察し、川の流れによる石の形や速度の違いを調査した。
- みどり川の水質について興味をもち、「さけ・ます内水面水産試験場」の協力の下、水質調査を行った。

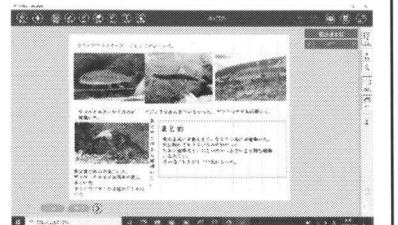


【まとめる】④

- 調査を基に、自分たちが分かった事をそれぞれの方法でまとめた。
- それぞれの調査結果が分かるようにMetaMoji ClassRoomを活用し整理した。

【まとめる・発表する】⑧

- 1年間調査してきた分かった事をタブレット上でまとめ、交流会を行った。
- 分かりやすく伝えるために、国語で学習したことを生かし、資料として今まで撮りためてきた写真を活用しながらまとめていった。



8.成果と課題

- 子どもたちは学校周辺を探索することを通して、身近に「みどり川」が存在することを改めて認識し、そこに生息する動植物について調べて行くことで、中標津町の豊かな自然について理解を深めることができた。
- 活動を行いながら、子ども自ら課題をもち追究する姿が見られた。
- 解決した個々の課題を全体交流で、より発展的な課題へと広げていくための工夫が必要である。

アドバンス 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト		学校名	中標津町立丸山小学校		助成番号	2021-7212 -008					
2.単元名	みどり川と遊ぼう											
3.目標	自ら対象に関わり課題を見つけ追究しようとする。											
4.実施学年 人数	第6学年 53名											
5.場所	みどり川、丸山公園											
6.単元構想 (総時間数)	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
6学年・単元目標	総合「みどり川と遊ぼう」他の地域の川や昔のみどり川とくらべ、現在の川を守り続けていこうという思いをもつ。(行事・理科・社会・国語とも関連) 54時間											
	北海道独自の歴史を知り、祖先にとつての川の意味を知る。植物の体のつくりと働きについての理解を図り、生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする。生物と環境について観察を行い、得られた結果を基に考察し、それを発表する。			今まで調べてきたことをもとに、他町にある川や地形などに興味をもち、それぞれを比較しながら中標津町の自然を見つめ直そうとする。				自分たちが1年間課題追究して分かったことを報告文まとめ、分かりやすく伝えようとする。				
主な学習活動	【課題を設定する】⑦ みどり川の様子について昨年度と比較しながら課題を見つける。アイヌの人々の暮らしと文化の学習から北海道独自の歴史を知り、それと関連付けてみどり川の歴史を探る。	【調査活動】⑮ みどり川のフィールドワークを行う。その中で、水辺の身近な植物についての様子や体の働きについて、理科の学習と関連させながら考察する。アイヌの人々の暮らしと文化を知り、中標津町の歴史の調査をしたり、みどり川の歴史を探ったりする。	【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、タブレット上で編集し、活動をまとめ、他のグループと交流する。その際、MetaMoji ClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の交流学习を行う。	【課題を設定する】⑦ 今まで学習してきたことを基に、他の川と比較しながら考察する計画を立てる。	【調査活動】⑮ アイヌの人々との暮らしに関わりがある他町の川について調査し、自分たちの身近にあるみどり川・標津川と比較しながら、考察する。地層の学習を生かしてみどり川周辺を調査し、地層の石などの構成物の違いを見つける。	【まとめる】⑥ 調査活動の際に撮影した画像をもとにして、タブレット上で編集し、活動をまとめ、報告会を行う。MetaMoji ClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。	【課題を設定する】⑥ 今までの調査をもとに分かったことを分かりやすく伝えるためにどのような方法があるかを考える。	【まとめる・発信する】⑫ 豊かな自然にあふれる中標津のみどり川を今後も守り続けていくために、どんなことをしたら良いか考え、説得力のある文章にまとめ発表する。MetaMoji ClassRoomを使用して、リアルタイム双方向の報告会を行う。調査結果をマップとして保存する。				
	○自分から進んでみどり川・標津川・丸山公園の様子を探ろうとしている。	○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○既習の内容と身近な疑問を関連付けて考え、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。 ○歴史や他の川と比べながら、みどり川の素晴らしさに気づき、大切にしようとしている。	○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。	○他町の川と比較して見えた新たな疑問をもち、調査しようとしている。	○自分の課題に向かって、見通しをもって解決しようとしている。 ○他町の川とみどり川の比較で見えた疑問に対し、自分なりに仮説を立てて調査している。 ○友だちの発見し共感し、写真や絵、言葉で記録を残している。	○自分の調査結果を写真と言葉を使って、相手に分かりやすくまとめている。 ○友だちの発表を聞いて、さらに自分自身の課題を見つけようとしている。	○今まで調べてきたことをもとに、どのようにまとめていくか見通しをもってしている。	○説得力のある文章にするために、文章構成や添付資料などを効果的に用いながらまとめている。 ○まとめの活動をしながら、みどり川の素晴らしさに気づき、大切にしようとしている。 ○中標津の豊かな自然に気づき、その自然を守るためにできることを当事者として考えようとしている。				
評価項目												

1.助成事業名	学校名	助成番号	2021-7212-009
---------	-----	------	---------------

7.実際にいった単元構成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---

総合「みどり川と遊ぼう」 他地域の川や昔のみどり川とくらべ、現在の川を守り続けていこうという思いをもつ。(行事・理科・社会・国語とも関連) 54時間

昨年度学習したことを基に、社会や理科と関連付けながら、みどり川周辺の歴史を調査するとともに、修学旅行で行く白滝の川と比較し、分かった事をまとめる活動を行った。

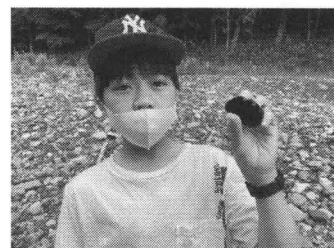
夏休み前に学習したことを基に、さらにみどり川の調査を進め、隣の標津町にあるポー川と比較してまとめる活動を行った。

調査をしながら、みどり川周辺にゴミがたくさん落ちていることに気づき、それを拾ってキレイにする活動を行った。

6学年

【課題を設定する】
④
○昨年度探検したみどり川を思い出し、春のみどり川を探検し、違いを見つけた。
○社会科の学習で取り組んだアイヌの人たちの暮らしと文化の学習をもとに、みどり川の歴史を探ることとした。
○アイヌの人たちが黒曜石を使って交易していたことを知り、みどり川にもないか調べることとした。

【調査活動】⑫
○「まるごと中標津」のテーマのもと、みどり川だけではなく、中標津のよさを見付ける町探検を行い、調査活動を行った。
○修学旅行先の白滝の川で、黒曜石の発掘体験をし、中標津町のみどり川との違いをまとめた。
○中標津町を330度見渡せる展望台「開陽台」までの14kmの道のりを中標津町のよさを発見しながら歩いた。



【まとめる】⑤
○修学旅行先の白滝の川と中標津町のみどり川を比較し、相違点をまとめ、MetaMoji ClassRoomを使って交流した。
○改めて感じた中標津町のよさをタブレットを使って記録した。



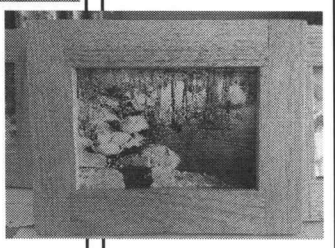
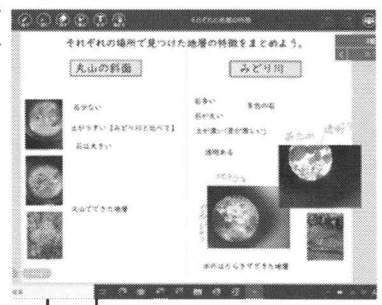
【課題を設定する】
⑤
○白滝の川とみどり川を比較して分かった事を基に、さらにみどり川の探検を行い、標津町のポー川とも比較できるように課題を設定した。
○「大地のつくり」で学習したことを生かして、みどり川の地質調査を行った。
○中標津町のよさを記録に残すために、どのような写真を残したら良いかという課題を設定した。

【調査活動】⑬
○標津町にあるポー川・みどり川・白滝の川を比較し、歴史・地形・地層などに着目しながら調査を行った。これらを調査することで、みどり川の素晴らしさに気づいていた。
○北海道教育大釧路校の境教授と地層の学習を行い、みどり川付近の地層について調査した。
○中標津町のよさを写真に残すために、地域の方を呼び写真教室を行った。



【まとめる】
⑥
○三つの川を比較し、分かった事や他教科と関連させて考察したことMetaMoji ClassRoomにまとめ交流した。
○地層の調査から、みどり川付近の大地ががどのようにできたかを考察し、MetaMoji ClassRoomにまとめた。

【課題を設定する・行動する】⑥
○一年間学習してきたことをもとに、中標津のよさを再発見し、それを大切に残していきたいと卒業制作を作成し体育館に掲示した。



【まとめる】③
○2年間学習したことを基に、みどり川や丸山公園があるこの中標津町の自然を大切に守っていくことを伝えたいと、写真教室で教わったことを生かし、写真立てに収めた。

8.成果と課題

- 2年間みどり川を探索し、そこに生息する動植物を調べる中で、中標津町に豊かな自然があることに改めて気づき、それを大切にしようという思いをもつことができた。
- 児童一人一人が課題を設定していく上で、教師側の明確なねらいをもつことで、より成果が得られると考える。

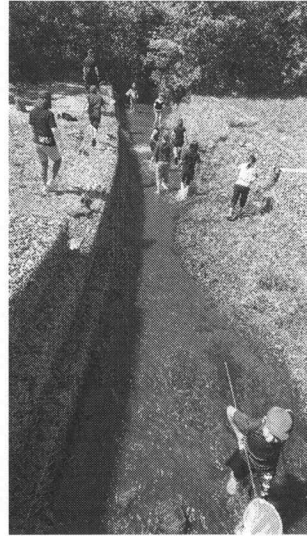
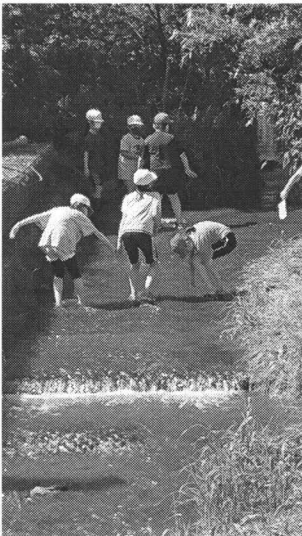
助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-008	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト 〈5年〉	中標津町立丸山小学校 横山 裕 充



フィールド：「実施箇所」の辺り

日付：2021. 5. 13

コメント：町探検をしながら、みどり川の存在に気づき、川の流れを観察したり、音を聞いたりして興味をもたせた。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日付：2021. 7. 15

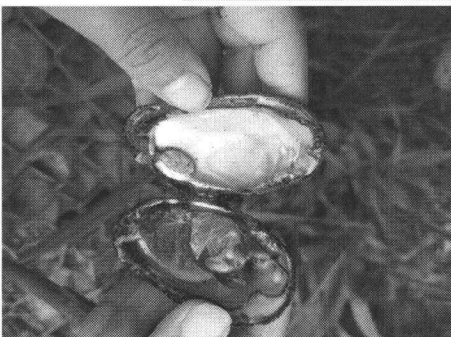
コメント：実際に、みどり川に入り、川の中でそれぞれの思い思いに探検する活動を行った。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日付：2021. 9.

コメント：自分が探究したいテーマを決め、川に入った。川に生息する生物について調べる児童もいれば、川の数カ所の水を採取して水質を調べる児童、砂鉄がとれる場所を探す児童など、多岐にわたって観察をした。



助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-008	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト (5年)	中標津町立丸山小学校 横山 裕 充

フィールド：「実施箇所」の辺り

日付：2021. 10.

コメント：自分たちが調べたことを MetaMojiClassRoom を使ってまとめ、交流した。



フィールド：「実施箇所」の辺り

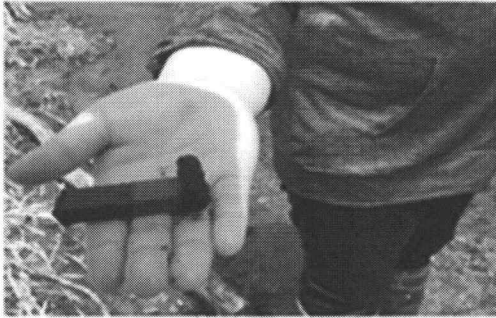
日付：2021. 10～11

コメント：理科の「流れる水のはたらき」の学習で、再びみどり川・標津川に行き、流れの速さや退席されている箇所、小石の大きさ・形などを観察した。



助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-008	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト (6年)	中標津町立丸山小学校 横山 裕 充

持参した磁石を、水の中に入れて地面に近づけると、砂鉄が取れました。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日付：2021. 4.

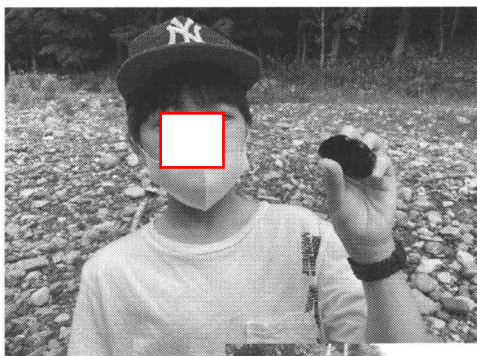
コメント：みどり川を含む中標津全体を自分の足で探検して歩くことで、自分で追究してみたい課題を見つける活動を行った。



フィールド：「実施箇所」の辺り

日付：2021. 6. 25

コメント：みどり川の水源地付近にある森林公園を通りながら、中標津町を330度の視界で展望できる「開陽台」まで、探索をしながら14kmの道のりを歩いた。



フィールド：修学旅行先の川

日付：2021. 7. 8~9

コメント：修学旅行先の白滝の川を探索し、みどり川・標津川とのちがいを発見した。また、みどり川にはない黒曜石の発掘体験をすることができた。



助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-008	「みどり川と遊ぼう」プロジェクト 〈6年〉	中標津町立丸山小学校 横山 裕 充



フィールド：標津町ポー川史跡自然公園の川

日付：2021. 8. 27

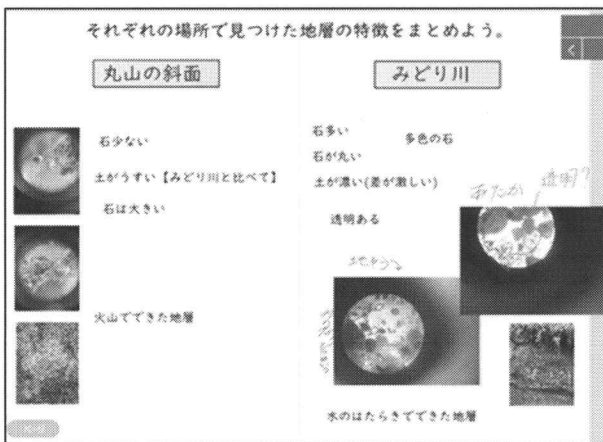
コメント：標津町にある「ポー川」の見学をし、身近にある「みどり川」、修学旅行先の「白滝の川」と比較し、違いを発見した。



フィールド：「実施箇所」の辺り

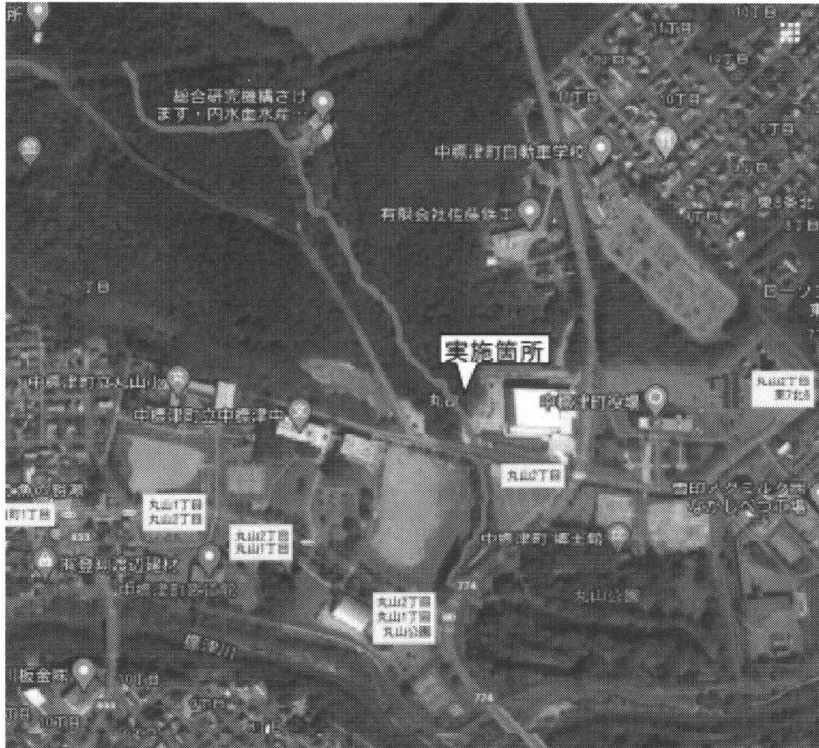
日付：2021. 10～11

コメント：北海道教育大釧路校の境教授に來校していただき、理科の「大地のつくり」の学習を行った。地層のでき方を学習した上で、みどり川周辺の地層がどのようなになっているか調べ、MetaMojiClassRoomのまとめ、交流した。



助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-008	「みどり川で遊ぼう」プロジェクト	中標津町立丸山小学校 横山 裕 充

主な実施箇所 みどり川



<活動場所全景>

みどり川 (体育館横)
↓
三日月湖 (丸山公園)
↓
標津川

助成事業の主な実施箇所

<主な活動場所拡大>

みどり川
(主な活動場所)

